

岩倉市地域公共交通会議議事録

会議名称	平成 27 年度 第 2 回岩倉市地域公共交通会議	
開会及び閉会日時	平成 27 年 11 月 18 日 (水) 午後 2 時から午後 3 時まで	
開催場所	岩倉市役所 第 1 委員会室	
会長氏名	磯部 友彦	
出席委員 職氏名	中部大学教授 名鉄バス株式会社 運輸部部长兼運輸計画課長 名鉄西部交通株式会社 総務部 企画担当部長 愛知県タクシー協会 副会長 愛知県交通運輸産業労働組合代表者 中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官 愛知県振興部交通対策課 主幹 愛知県一宮建設事務所 維持管理課長 愛知県江南警察署 交通課長 区長会長 民生委員児童委員協議会代表 岩倉市長	磯部 友彦 近藤 博之 久留宮 優司 松浦 秀則 河村 利春 古橋 靖弘 (渡邊 久志代理) 小久保 信 (瀬古 忠義代理) 丹慶 有司 水野 文三 (小川 芳宏代理) 梅村 満夫 横井 武彦 片岡 恵一
欠席委員 職氏名	公益社団法人愛知県バス協会 専務理事	古田 寛
事務局 職氏名	総務部長 協働推進課長 協働推進課主幹 秘書企画課長 秘書企画課主査 秘書企画課主事	奥村 邦夫 小松 浩 竹井 鉄次 長谷川 忍 加藤 淳 渡邊 拓己
傍聴者	3 名	
会議次第	1 会長あいさつ 2 市長あいさつ 3 報告事項 (1) 岩倉市デマンド型乗合タクシーの実績報告について (2) 岩倉市デマンド型乗合タクシーの平均乗車人数(乗合値)について 4 その他	
配付資料	1 次第 2 資料 1 : 岩倉市地域公共交通会議委員名簿 3 資料 2 : 岩倉市デマンド型乗合タクシーの実績 (平成 27 年 9 月まで) 4 資料 3 : 岩倉市デマンド型乗合タクシーの平均乗車人数(乗合値)について (平成 27 年 9 月まで) 5 資料 4 : 岩倉市保育園送迎ステーション事業(案) 6 資料 5 : 今後のスケジュール	

議事録

次第3について

[事務局より報告事項(1)(2)について資料2、3に基づき説明]

○瀬古委員代理

妊婦で登録してあった方が出産を終えた場合はどうなるのか。

○事務局

出産後は対象外となり、就学前児童として別に登録していただくことになる。

○瀬古委員代理

そうすると、利用者自体は変わらないが、変更の手続きの手間がかかるのではないか。

○片岡委員

子どもが生まれた後も、面倒な手続きなしで利用してもらえるようなサービスはないのか。

○事務局

現時点で妊婦が出産を終えた場合、継続利用できるようなサービスはないが、妊婦として登録した際に、出産後も就学前児童として継続利用を希望するかを聞き取り、対応できるよう調整する。

○磯部会長

登録した後、出産を終えた方やお亡くなりになった方など、利用者の減も把握し、利用者を適正に把握しているか。

○事務局

利用者の登録については、年1回程度住民基本台帳等で管理している。

○磯部会長

最初から2人で乗った場合と途中から乗り途中で降りた場合、それぞれの乗合値がどうなっているのかも気になる。前者はタクシーのような利用で、後者はバスのような利用なのでその辺りが分かるかと思う。

○片岡委員

時間帯別の乗合値もあるかというがどうか。

○事務局

乗合値をそのような方法で算出するためには、データを手作業で集計する必要がある。

○横井委員

障害者のみの利用状況は把握しているのか。

○事務局

これもデータを手作業で集計することになる。

○横井委員

障害も身体から精神まで色々あるのでその内訳も分かるといい。

○事務局

システムに障害の種類まで登録してあるか、即答しかねるので次回会議までに検討とさせていただきます。

○瀬古委員代理

事業の収支率はどうなっているのか。実際に市が負担したお金に対して、収入がどの程度なのか。

○事務局

平成 26 年度の予算が約 1,500 万円。乗車人数が 7,119 人で、1 回あたり 300 円なので約 210 万円の収入となる。ただし、無料券の利用や、チケットの利用もあるので正確な収支率の把握は難しい。

○磯部会長

正確に把握するのは困難だと思うが、予算の関係もあるので、どこかで集計した方がいい。

○瀬古委員代理

質問の意図は、市としてどこまで事業をやっていけるかの判断基準が必要になるのではないかという意味である。やめることになる時や本数を増やす時には、そういった判断基準が必要になる。

○磯部会長

実証運行から本格運行へ移行する際、評価基準を策定し判断はしたが、次の評価基準は必要になると考える。1 日の乗車人数が 40 人で、実証運行から本格運行に移行するとしながら、多少は足りてなくても移行したわけだが、次の評価基準をどこにするのか、収支状況も含めて、難しいが決めていく必要がある。

○事務局

今後は節目毎にそういった情報も提供できるようにしていく。

○磯部会長

現時点では本当に今のデマンド型乗合タクシーが一番いいのかも分かっていない。何らかの方法で、利用者及び一般市民への調査をし、意見を聞けるといいと思う。

4 その他

[事務局より資料 4, 5 に基づき説明]

○横井委員

事務局から、デマンド型乗合タクシーの利用促進についても説明もあったが、利用者が伸び悩んでいる原因が見えない。何がユーザーにとって不便で、何が利用促進の阻害になっているのか、

調査する必要があると思う。それがアンケートがいいのか、インタビューのようなものかいいのか分からないが、原因が分からないと対策をうって外的外れになっている危険があるので、原因の特定を何かやっていただきたい。

○事務局

1日40人という目標を達成すべく、これまでの利用状況をお断りの状況も含めてデータ分析している。乗合値を上げていくことが乗車人数を上げていくことにもなると思うので、分析を続けていきます。

○松浦委員

50人以上乗っている月もあるので、50人以上も可能ということである。こちらでもできることがあれば協力させていただく。

くるくるい～わ号の利用料はいくらを想定しているのか。利用料次第で利用者の数も随分変わってくるかと思う。

○事務局

自治体によって利用料金に違いがあるが、概ね月額2～3千円程度かと思う。中には1回あたり500円取っているところもあるが、それだけ取ると利用促進が難しいと思う。

○片岡委員

日産の無料で貸し出す電気自動車が愛知県に2台あるが、そのうち1台をこの事業で利用することができた。

○磯部会長

事業費は利用者負担だけでなく、市もコストをかけて利用料を設定していくこと。

[閉会]

上記のとおり、岩倉市地域公共交通会議の経過及びその結果を明確にするために、この会議録を作成し、ここに署名します。

平成 年 月 日

岩倉市地域公共交通会議

会長

印